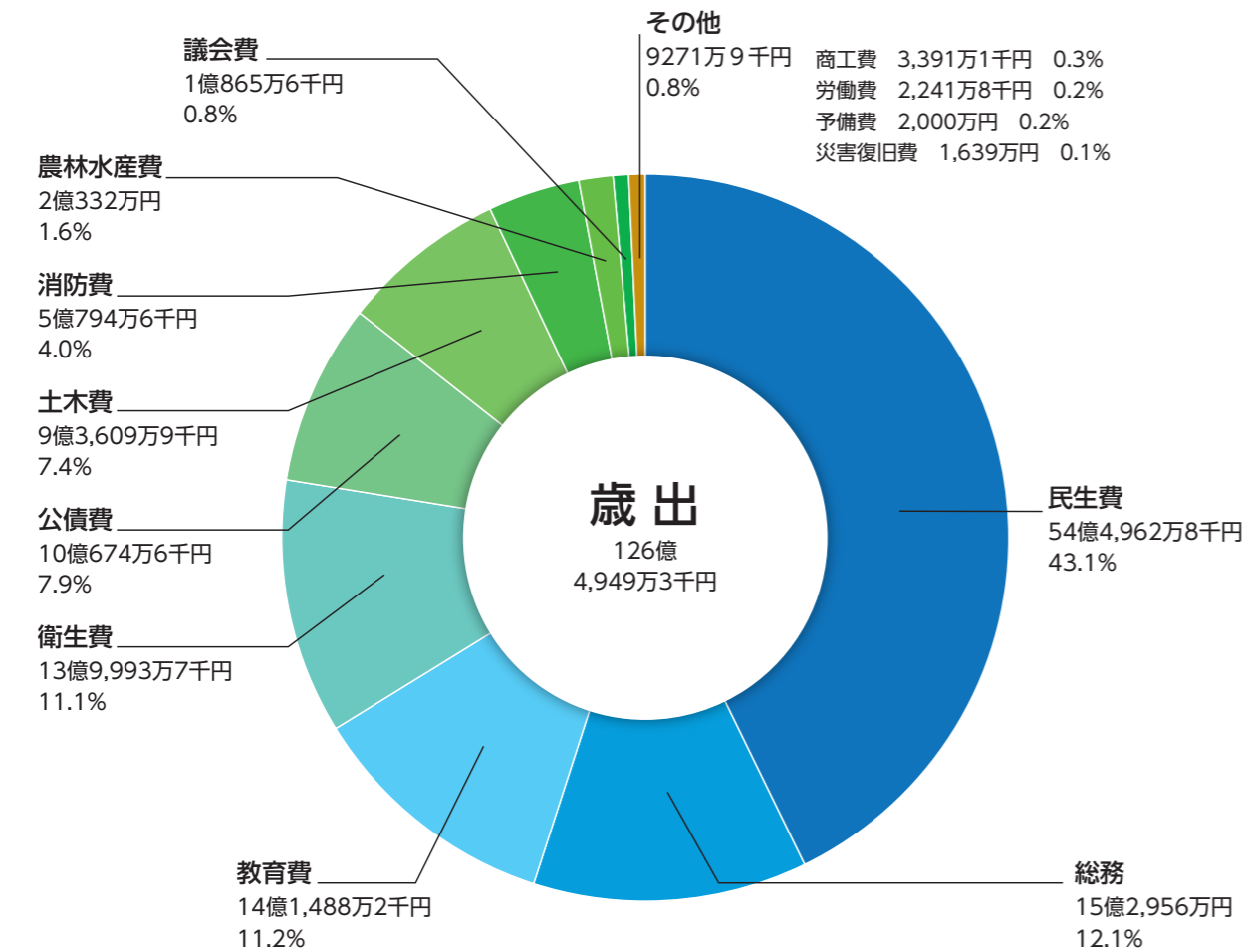


前年度比について

昨年度の一般会計当初予算は、骨格予算(町長選挙の関係から政策的経費などの計上を避け、義務的経費など必要最小限の経費を計上する予算のこと)編成だったため、安川町長就任後の臨時議会などで可決した補正予算第1号、第2号後の肉付け予算と比較しています。



目的別歳出では、民生費が54億4,962万8千円(前年度比3億3,104万6千円増)で全体の43.1%という高い割合を占めています。民生費の増加の要因は、年々増加している障害者福祉費や後期高齢者医療費の負担金、介護保険関係経費の増加などが挙げられます。

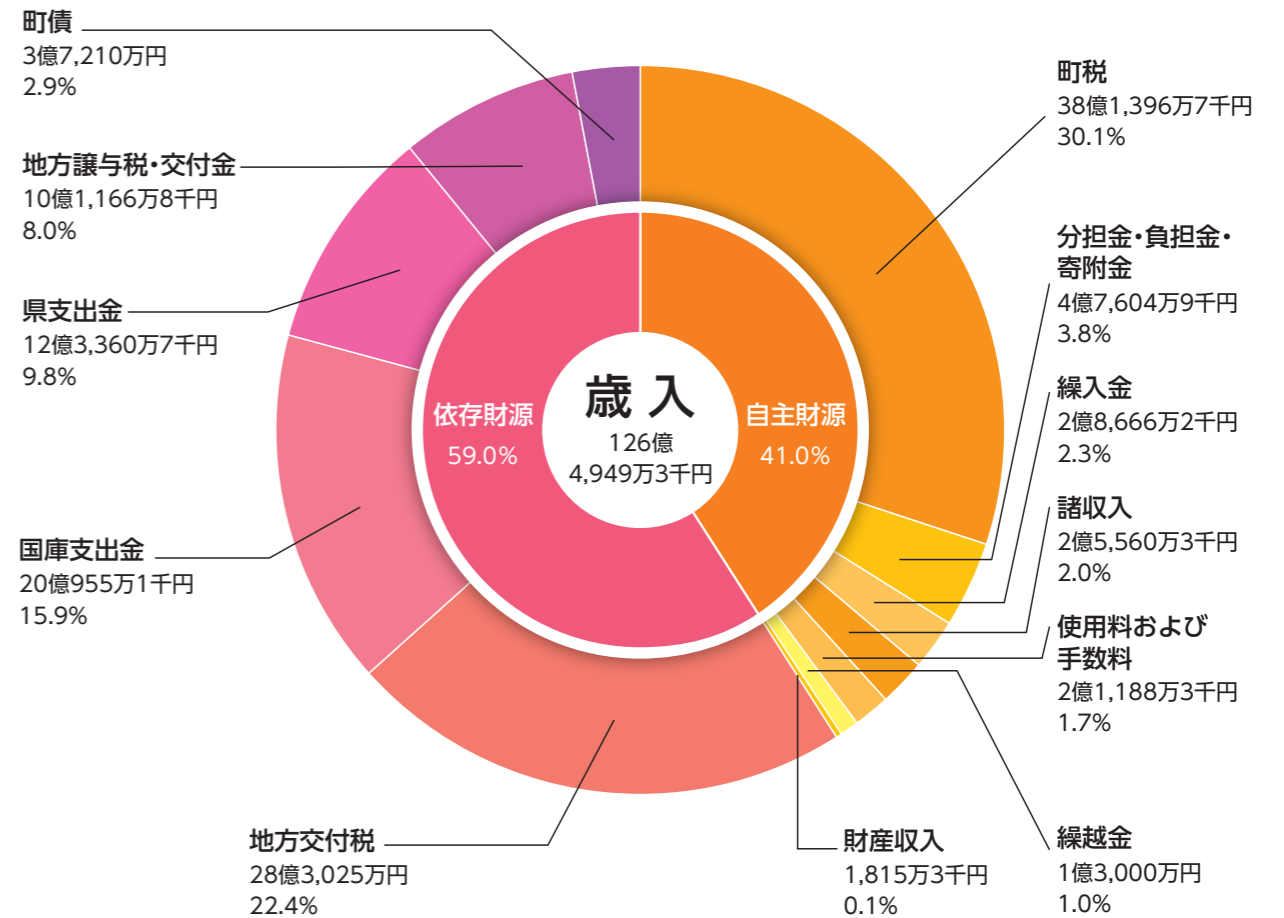
公営企業会計 自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計です。	
上水道事業会計	収益的収支(水道事業の経営活動に伴い発生する収支)
	収益的収入 8億1,462万8千円
	収益的支出 8億618万8千円
	資本的収支(施設建設などでの収支)
資本的収入 1億3,441万9千円	
資本的支出 3億6,082万3千円	
流域関連公共下水道事業会計	収益的収支(下水道事業の経営活動に伴い発生する収支)
	収益的収入 9億3,795万9千円
	収益的支出 8億6,654万9千円
	資本的収支(施設建設などでの収支)
資本的収入 5億1,884万9千円	
資本的支出 8億3,935万6千円	

「このまちが、いい。」と
選ばれるまちに

令和5年度 宇美町 当初予算

令和5年度の一般会計・特別会計(国保・後期)および公営企業会計(上水道・下水道)の当初予算が、3月23日(木)に町議会の議決を経て成立しました。

一般会計当初予算は、令和4年度当初予算と比較して、3億9,253万7千円の増の126億4,949万3千円で、過去最大の予算規模になりました。第7次総合計画の将来像である「『このまちが、いい。』わたしたちの誇り 宇美」の実現に向け、効果的な行財政運営に努めていきます。



町の主要財源である町民税などの町税は、38億1,396万7千円で、過去最高の予算額となりました。また、地方交付税は前年度比で2億5,661万4千円増の28億3,025万円となりました。

なお、町税をはじめとする自主財源は41%にとどまり、財源の半分以上は地方交付税、国・県支出金、町債などの依存財源に頼った予算編成となっています。

会計名(事業名)	令和5年度	令和4年度	比較
国民健康保険特別会計	42億4,601万2千円	39億5,644万円	2億8,957万2千円
後期高齢者医療特別会計	5億4,602万5千円	5億705万1千円	3,897万4千円



▲ 予算書は町ホームページでご覧いただけます